

災害復旧工事

東日本大震災復興への取り組み

東北の完全復興を目指して

東北支店 工事部長
中上 記章

東日本大震災直後の応急復旧工事に始まり、高速道路の本復旧工事、岩手・宮城の沿岸部の復旧工事、福島第一原発事故に伴う指定廃棄物の仮置き場整備工事の施工をしてきました。工事を取り巻く環境の変化に対応し、職員と協力業者全員が協力しあい作業を進めてきました。今後も引き続き東北の完全復興を目指して事業に取り組んでいきます。

発注者：環境省

工事名：平成24年度楢葉町警戒区域見直しに伴う廃棄物仮置場（館ノ沢）整備工事



佐藤 和之

復興を成し遂げる過程で、家庭から排出された一般廃棄物を、仮置きするための敷地を造成する工事です。一般廃棄物が搬入されながらの施工となり、工区を分けて施工することにより、一般廃棄物の置き場を確保しつつ、無事に完成することができました。復興に必要な工事に貢献できたことを誇りに思います。

発注者：環境省

工事名：平成24年度東日本大震災により生じた対策地域内廃棄物の国直轄処理業務（楢葉町前原）における災害廃棄物仮置き場整備工事



田村 昌之

東日本大震災の津波によるガレキを仮置きするための敷地造成工事です。造成地は海に近いので、止水に苦労しました。また津波の影響で絶滅危惧植物（ミズアオイ）が植生し、その調査のために工期延期を余儀なくされましたが、皆様の協力を得て無事に完成することができました。この工事を行うことにより災害復旧に貢献できて良かったです。

発注者：(株)大林組

工事名：原町火力発電所 サービスビル正面外構復旧工事



訓覇 観

被災した南相馬市の原町火力発電所、構内道路施設の復旧工事です。被災により原子力発電が不能になったため、火力発電の需要が高まり早期復旧が求められました。工程は非常に厳しいものとなりましたが、早期復旧を目標に、現場全員が心一つにして工事を行い、無事に完成することができました。

発注者：宮城県

工事名：平成24年度311地震災1245-A01号 手樽(1)外道路災害復旧工事



勝山 正男

日本三景である松島での道路復旧工事です。舗装工事だけでなく、崩壊した法面をブロック積にて復旧する工事があり、難易度の高い工事でした。観光地のため、道路の一部を供用しながら施工しなければならず、第三者への安全確保を最重要目標とし、日々の現場管理を行いました。

発注者：東日本高速道路株式会社（NEXCO東日本）

工事名：磐越自動車道 郡山管内（下り線）舗装災害復旧工事



末安 健二



東日本大震災で被災した磐越自動車道郡山管内の舗装復旧工事です。早期復旧が目標のため、工程調整・資機材の調達が非常に厳しいものとなりました。また、安全面では一般車両の事故が懸念され、現場当事者が一丸となって事故防止対策を工夫し、無事に工事を完成することができました。最後に福島で震災復興に貢献できたことをうれしく思います。

発注者：宮城県

工事名：平成24年度県港施災23101-005号 中島埠頭荷捌地外災害復旧工事



白幡 弘満

東日本大震災で被災し沈下した岸壁を約1m高上げるため、背後地である荷捌地の高上げを行う工事です。当初設計から工事量が大幅に増加し、被災地での資機材の調達が難しく非常に厳しい工程となりました。このため下層路盤材は川崎より船舶輸送により納入し、アスファルト舗装は出荷数量を確保できる夜間で施工し、無事に完成となりました。

発注者：東亜建設工業株式会社

工事名：宮古港鵜崎地区-5.0m岸壁外（災害復旧）工事のうち舗装工事



情野 拓也

東日本大震災で被災した岸壁を撤去し、80cm程度高上げる工事です。宮古湾での漁港の工事であり、水揚げに影響を与えないように工事を進める必要がありました。使用する生コンクリートの確保が困難で、工程は厳しいものとなりましたが、関係者の協力を得て無事に完成することができました。完成の際は、地元漁業組合から感謝していただき、復興工事へ携わることができたことを誇りに思っています。



発注者：東日本高速道路株式会社（NEXCO東日本）

工事名：東北自動車道 白河～本宮間舗装補修工事



佐竹 良一

平成22年7月に契約した工事で、既済検査直前に東日本大震災が発生し、工事の一部が中止となり、応急復旧工事の対応をすることになりました。その後は本工事へ移行しましたが工事内容が災害復旧工事として大幅に変更となり、追加工種が多くありましたが、担当者全員が一丸となり無事に工事を完了することができました。貴重な経験と福島での復旧工事に携わることができ、うれしく思います。

発注者：宮城県

工事名：平成23年度県港施災23101-008号 潮見埠頭荷捌地外災害復旧工事



菊池 太

東日本大震災で被災し沈下した岸壁を約1m高上げるのに伴い、背後地である荷捌地の高上げを行う工事です。中島埠頭荷外工事と同じ時期での施工となり、工程調整・資機材の調達が非常に厳しいものがありましたが、支店・営業所の協力があり、無事に工事を完成することができました。

海外工事

ラオス国道9号線
海外での道路工事にJVの構成会社として参加しています

平成24年度に(株)大林組・大林道路(株)JVとしてラオス国道9号線(メコン地域東西経済回廊)整備工事を受注し、現在も施工中です。この道路は東南アジア地域の重要幹線道路であり、道路整備に対する周辺地域の期待も大きく、その期待に応えられるよう全力で取り組んでいます。



着工前状況



路盤施工状況



舗装施工状況



砕石工場



アスファルトプラント

- 概要**
- **工事名:** ラオス国道9号線(メコン地域東西経済回廊)整備工事
 - **工期:** 2012年4月26日~2015年3月31日
 - **工事場所:** ラオス人民民主共和国 サバネケット県
 - **工事概要:** 2000~2002年に無償援助案件として改修された国道9号線(約133km区間)のうち、損傷区間の改修工事(工事延長58.1km)である。
 - **既設舗装撤去/新規路盤/舗装** L=49.085km
 - **再利用路盤/舗装** L=8.750km
 - **コンクリート舗装** L=0.265km
 - **排水工事** L=101.800km
 - **付帯工事** 1式

現地担当者の声



北嶋 義雄



丸山 敦裕

現地に赴任した当初は基層工の始まりでした。撤去工、路盤工、排水工は施工が進められていたものの、慣れない作業のため進捗はよくありませんでしたが、現地国の協力会社も徐々に作業のコツをつかみ進捗が上がり始めています。

この工事では日本国内での工事とは違い、現地にてボーリング調査を実施し、そ

の結果を基に採石場を選定します。その採石場で砕石・骨材を自ら製造し、その品質管理も同時に行い、路盤材やアスファルト舗装用の骨材に使用しています。

また、施工場所では現場施工管理を行えるよう現地スタッフに指導することが我々の業務ですので、英語や片言の現地語を使用してコミュニケーションをとることが非常に大切だと感じています。

現況の道路はひどく損傷しており一般車両の走行に支障をきたしていますので、地元住民や道路の利用者が一日でも早く、安全で快適に走行できるように、工事を進めていきたいと思ひます。

(丸山)

アスファルトプラント

中国支店 広島アスファルト混合所
最新鋭の都市型アスファルトプラントとして
操業を開始しました

コンピュータ制御による徹底した稼働管理を行っている他、臭気を高温で燃焼させて脱臭処理をする装置や、騒音・粉塵を最小限に抑える最新の設備を導入した無公害型「都市型プラント」です。

動力にもクリーンエネルギーである都市ガスを使用し、さらに太陽光発電システムやLED照明を採用することで、地球温暖化防止に貢献します。

また、当社工法の「地下貯水システム」を導入し、雨水を地下に貯留して流出を抑制します。貯留した雨水は事務所内のトイレ用水などに使用し、水資源の保護と有効活用を実現しています。

2014年には中間処理施設の操業を開始し、資源循環型社会の構築を目指します。

- 施設概要**
- **所在地:** 広島市佐伯区五日市港2-3-7
 - **プラント能力:** アスファルト混合物 80t/h
再生アスファルト混合物 60t/h
 - **合材サイロ:** 120t 1基 100t 1基
 - **操業開始日:** 平成24年11月15日



コンピュータ制御による出荷管理



太陽光発電パネルの設置

